

# 無料地図ソフトを利用して鳥獣被害 対策情報の集約・共有ができる

福島県農業総合センター 企画経営部 企画技術科

## 1 部門名

その他－その他－その他

## 2 担当者名

成田元樹

## 3 要旨

鳥獣関連情報は紙の地図上で管理されることが多く、情報更新や共有しにくいことが問題である。そこで、無料アプリ・ソフトを利用し、Web 上において、鳥獣関連情報を地図上に可視化して関係者間で共有する手法を実証した。実証した集落を対象にアンケートを実施した結果（市町村職員 3 名、県職員 1 名、住民 22 名）、「実用性がある」及び「どちらかといえば実用性がある」の回答割合は 72%であった（図 1）。

- (1) 現場において、タブレットで無料地図アプリ「スーパー地形」を用い、被害箇所などの情報を入力する。
- (2) PCで「Google マップ」のマイマップを利用し（Google アカウントの取得が必要）、「スーパー地形」から出力したデータで、地域の鳥獣関連情報を集約した地図を作成し、保存する。
- (3) 地図の URL を通知することで、関係者間で鳥獣関連情報の共有ができる（図 2）。

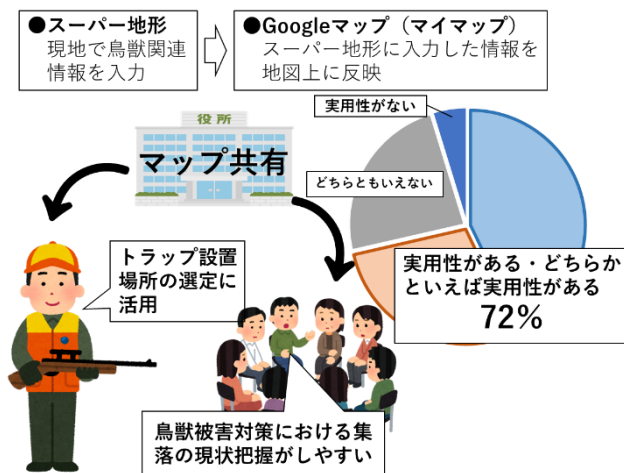


図1 情報共有の流れとアンケート結果



図2 地図上の鳥獣関連情報の共有画面イメージ

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～5 年度
- (2) 研究課題名 野生鳥獣害対策技術の確立〔福島県中山間ふるさと水と土保全基金〕

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 「Google マイマップを用いた水利施設 GIS の構築手法マニュアル」 (農研機構)